（1990年7月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月1日、15日発行

5／15 2023 第860号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・増永浩子
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

誰一人取り残されることのない「安心社会」の実現を

連合京都メーデーが各地域で開催

▲快晴の中、梅小路公園には約12000人の組合員や家族が参加した

連合京都は4月29日、京都市・梅小路公園で第94回京都中央メーデーを開催。組合員や家族など約1万2000人が参加した（自治労約400人）。連合京都の原会長は、「コロナ禍やウクライナ侵攻が暮らしに大きな影響を及ぼしている。今春闘の賃上げ実績を継続し、真のワークライフバランス実現をめざそう」と訴えた。

「誰一人取り残されることのない安心社会の実現」をめざすメーデー宣言や地域アピールを採択し、参加者全員でガンバローを三唱した。

また、連合京都は29～30日にかけて、府内5か所の地域メーデーを開催。自治労の各単組はそれぞれの地域メーデーに参加した。

将来後悔しないために

ライフプランと地球環境を考えるセミナーを開催

▶ライフプランについて瀬戸家先生（囲み）より講演を受けた

地球のことを考え、行動する「アースデイ」。府本部は4月22日のアースデイにあわせて毎年「アースデイコンサート」を京響音楽家労組の協力のもと実施してきた。今年は、4月27日ウイングス京都で新規採用職員を中心とする若年層職員を対象に、ライフプランと地球環境を考える「ライフプランセミナー&アースデイコンサート」と題して開催。14単組53人が参加した。

セミナー第1部では増永副委員長による主催者あいさつの後、FPハーベスト代表の瀬戸家みのりさんより、「新規採用職員のための知ってトクするライフプランセミナー」と題した講演を受けた。

講師は、「新社会人のお金3カ条」として「①クレジットカードは1枚。リボは絶対使わない！②スマホ代・生命保険料は自分で払う！③お金が貯まる仕組みを作る！」の3点に絞って解説。「若年層の親世代は60歳以降の資産運用を考えないといけない大変な時代。家計の中で見直しメリットの高いスマホ代と保険料を見直し、現在親が払っているようであれば自身で払うよう」促した。また保険料を見直す際は「組合員専用のじちろう共済を活用した方がおトクだ」と力説。さらに、「積立て制度における資産形成は『細く・長く』が鉄則で、少額でも早く始めた人が勝ち。自治労の長期共済など継続できる仕組みを活用しよう」と訴えた。

▲京響労組組合員によるフルート四重奏

第2部は、京響労組のフルート四重奏を聞いた。「美女と野獣」や「ホールニューワールド」などディズニーの名曲や携帯会社のCMで有名な「葦笛の踊り」など、誰もが耳なじみのある曲が多く、心地よい音色に酔いしれた。

府本部は、組合員一人ひとりが環境に優しい行動を心がけ、連合が提案する「連合エコライフ」運動を推進し、持続可能な社会をめざしていく。

府本部第179回中央委員会

日時　6月9日（金）14：30開会
場所　京都市・ラボール京都（四条御前西入）

2023 統一選 後半戦

府本部組織内・政策協力候補

全員当選を果たす

八幡市議会
福田さよこさん

木津川市議会
福井　平和さん

宇治市議会
西川ともやすさん

第20回統一自治体選挙の後半戦、各市町村議会議員選挙が4月23日に投開票された。府本部組織内の福井平和さん（木津川市議会）と、政策協力候補の福田さよこさん（八幡市議会）、西川ともやすさん（宇治市議会）が再選を果たした。

また、府本部が推薦した市町議会議員候補、市長候補もそれぞれ当選した。各単組・組合員のご協力に感謝申し上げる。

【府内推薦候補当選者】
城陽市議会・相原佳代子、京田辺市議会・河本隆志、宇治市議会・今川みや、向日市長・安田守、京田辺市長・上村崇、木津川市長・谷口雄一

双思交

今年の春は例年と異なり足早に過ぎていった。春スキーを楽しみにしていたが、近隣のスキー場は軒並み営業終了となり、今年も異常気象の兆しが伺える。先日のニュースでは全国各地での雷雨、雹の被害が紹介されていた▼2012年8月の府南部豪雨で弥陀次郎川（宇治市）が決壊し、大規模な浸水被害を受けたのは記憶に新しい。時代をさかのぼると1952年9月22日の台風13号では宇治川左岸堤防決壊で向島地区をはじめ宇治市、久御山町などの旧巨椋池一体を泥海に変えた。水位は人の背丈を超え、農家の大切な動力となる牛や馬は高台に位置する伊勢田集落に退避させた。完全に排水するまでに数十日も要する大水害となったらしい（一説によると意図的に決壊させたと地元の噂）▼当時は気象予報・通信網の精度も低いが、研ぎ澄まされた五感を備えた人が多くいたのは間違いない。先の先人が京都に都を移したのも感慨深いものがある。今後最新の技術と五感を養い、災害に対する自主防災力が求められるのだろう。（524）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

会計年度任用職員への勤勉手当支給を可能とする

地方自治改正案が可決・成立

会計年度任用職員への勤勉手当支給を可能とする地方自治法改正案が4月26日、参議院本会議で可決・成立した。改正案は、4月14日衆議院総務委員会で可決、その後、4月25日参議院総務委員会に審議の場が移され、自治労組織内議員の岸まきこ参議院議員が質疑を行った後、採決が行われ賛成多数で可決された。2024年4月1日施行される。今後は各自治体での確実な条例化に向け取り組みを進めよう。

▲傍聴行動に参加した全国臨職協のみなさん

臨時・非常勤等職員全国協議会は、「会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正を求める諸行動」の一環として、全国協議会幹事や協議会設置県地連の代表者を中心に傍聴行動を実施。京都からは府本部臨職評の北村和美事務局長（自治労京都市職）が衆・参総務委員会傍聴行動に参加した。

4月13日の衆議院総務委員会では、会計年度任用職員に勤勉手当の支給を可能とする地方自治法改正案に関する質疑が行われ、立憲民主党の石川香織衆議院議員（自治労政策協力議員）、大槻紅葉衆議院議員らが質問に立った。勤勉手当を支給するにあたっての必要な財政措置やスケジュール、また法の趣旨に制度が追いついていないこと等の質問に対し、松本剛明総務大臣からは「今回の法改正は会計年度任用職員の処遇改善のために行う」との答弁を得た。

また、4月25日には、参議院総務委員会を傍聴。自治労組織内の岸まきこ参議院議員から政府に対し、①会計年度任用職員や臨時・非常勤職員の存在の意義、重要性に対する見解、②すべての自治体で勤勉手当支給をすべきであること、③国の非常勤職員との権衡をはかるため、給与改定の時期、遡及に関する明確な見解を質した。

松本剛明総務大臣からは「教育や子育てを始め様々な分野において会計年度任用職員の方々が地方行政の重要な担い手としてご活躍いただいている」「会計年度任用職員についても常勤職員の取り扱いに準じた改定を行うことが基本」との答弁を受けた。また、大沢公務員部長からは、「会計年度任用職員の適正な処遇の観点から、法案が成立した場合には地方公共団体において勤勉手当を支給すべきものと考えている」との答弁を引き出した。

傍聴行動終了後、自治労組織内の鬼木まこと参議院議員の議員事務所を訪れ、参議院総務委員会での改正法案可決を報告。参加者から「今回の法改正は組織内議員の皆さんの尽力によるもの」との発言に対し、鬼木議員からは、「当事者の声が一番。これからも声を届けてほしい」と力強い言葉を受けた。

法改正はゴールではなくスタート。2024年4月1日の施行となるが、今後は各自治体で条例化を確実に勝ち取っていくことが重要となる。各自治体での確実な条例化にむけ、取り組みを進めよう。

▲岸まきこ議員が総務委員会で質疑

共済府支部に島田さん

4月からこくみん共済COOP（全労済）自治労共済推進本部京都府支部の職員に島田智司さんが着任した。新体制の府支部と連携し、各単組の共済推進に向けた取り組みをお願いしたい。

名前：島田智司（しまださとし）さん
年齢：25歳
出身：京都府舞鶴市
趣味：テニス、ファッション、お笑い鑑賞

「4月から共済府支部に着任しました島田と申します。以前は、共済東京都支部にて共済推進等に3年間従事しておりました。組合員の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。」

自治労組織内参議院議員
鬼木まこと 活動報告

地域公共交通の維持・再生について議論

少子高齢化の進展による地方部の過疎化は深刻な状況にある。その中で、地域住民の通勤・通学や通院などの移動手段として日常生活を支えている地域公共交通は、コロナ禍の影響もあり、厳しい経営状況となっている。

今後の地域公共交通を維持・再生するための「地域公共交通活性化法案」の審議にて4月20日に質疑に立った。

法改正により、赤字ローカル路線のあり方の見直しのために鉄道事業者や自治体、地域の関係者による再構築協議会を設け、「廃止」や「存続」という前提なしで利用者目線による協議が行われることになる。

自治体の関与が大きく求められるが、自治体には専門人材がほとんどいないため、人材の確保・育成が急務となる。また、自治体が交通モード（手段）に対して補助を行うにも財源が必要である。総務省も財政措置を行うことになっているが、今後ますます厳しい経営環境となることも想定され、将来的にはさらに財政措置が必要となる可能性がある。

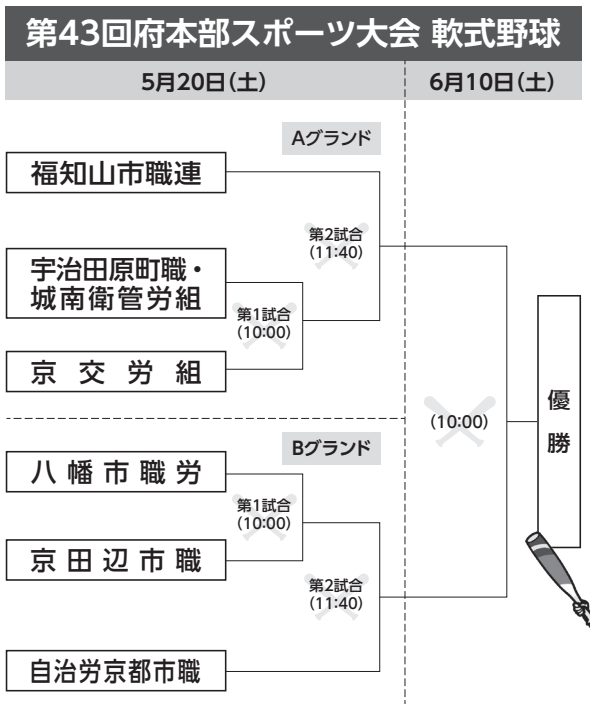
今後とも、地域を守るために必要な地域公共交通の維持・存続に向けて活発に議論を行っていく。各単組・組合員の声をお寄せいただきたい。

府本部スポーツ大会 軟式野球の部

対戦決まる

府本部は5月8日、スポーツ大会チーム代表者会議を開催し、軟式野球大会の組み合わせ抽選を行った。今年は6チームが参加し、初日は5月20日、決勝戦は6月10日に八幡市民スポーツ公園グラウンドで行われる。

優勝チームは、7月31日から兵庫県で開催される「第43回近畿地連スポーツ大会」の出場権を得る。



※2試合目以降の開始時間は目安です。
会場には余裕をもって到着してください。

毎月先着20名様限定！府本部独自見積もりキャンペーン実施中！！【キャンペーン期間：2023年4月～8月】

禁錮刑以上で公務員は自動的に失職
交通事故で執行猶予が付いた場合も同じです。
失職となれば日々の収入はなくなり、退職金も受け取れない可能性があります。

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています

じちろうマイカー共済は
起訴前の弁護士費用を支払う特約を
在職者に標準付帯

組合経由の申し込みで 団体割引32.5%※
※掛金体系の変更による職域掛金の廃止に伴い、団体割引率が変更されました。
団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。
また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

2021年11月更新契約より
（新規契約は2021年10月効力開始契約より）

自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

こくみん共済 coop NEWS 5120A141
じちろう マイカー共済
自動車総合補償共済
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済 coop〈全労済〉全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。
契約にあたってはパンフレットをご覧ください

※お見積りをいただいた方に、ハーゲンダッツ、ケンタッキー、Amazon、サーティワン、QUOカードなどのギフト券をプレゼント。
※詳しくは所属の組合まで。